

社会・文化・教育



キーワード：中国残留日本人、ナショナリズム、社会変動論

人はいかにして社会を変えるか

現代社会学部 現代社会学科 特任教授

浅野 慎一 ASANO Shinichi

研究の内容

一人ひとりの人々が、その人生を通していかにして社会を変え、新たな歴史を切り開いていくのかを、現代日本を主なフィールドとして実証的に研究しています。

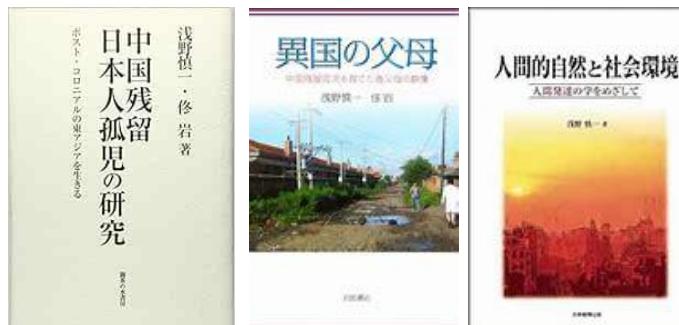
私たちは、日常生活の中で、さまざまな「生きづらさ」を経験します。それは、貧困や差別、いじめや誹謗中傷、人間関係の悩みや将来への不安など、多様な形をとって現れます。

同時に私たちは、地球環境破壊・戦争・グローバルな格差、そしてAI・ビッグデータを駆使した人間や社会の支配など、人類社会の行方にもさまざまな不安を感じています。

「一人の人間の生活と、一つの社会の歴史とは、両者をともに理解することなしには、そのどちらの一つも理解することができない」(C.R.ミルズ『社会学的想像力』)。

社会に翻弄されて生きる一人ひとりの人間が、自らの生き方・自己変革・発達を基礎として、社会全体の変革・発展をいかに可能にするのか。その内在論理を解明したいと思っています。

具体的には、中国残留日本人、外国人労働者、夜間中学生等にインタビュー調査をして人生の歩みを教えていただき、その歴史・社会的意義について考察します。



産学連携・社会連携へのアピールポイント

中国残留日本人、日本と中国の関係、現代社会変動等について、講演・メディア(新聞・テレビ・ラジオ・Youtube等)で情報発信しています。中国残留日本人の支援団体の代表として、日本語教室・交流事業等を行っています。また夜間中学校の全国組織の委員会メンバーとして史料保存事業にも参画しています。「新たな働き方」としてのワーカーズ・コープとも連携をしています。

研究者総覧（浅野 慎一）3号館3階13研究室

URL：「尊厳ある和解を求めて」 <http://dignity-reconciliation.jp/>

URL： https://gyoseki.setsunan.ac.jp/html/200000570_ja.html

